

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

【環境と人・地域社会】

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年の 累計実績	3か年の 進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(1) 人と環境とのきずなづくり	① 身近な自然環境の広報			—	・イベントやHPを活用したPR ・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2014の開催	・イベントやHPを活用したPR ・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催	・イベントやHPを活用したPR ・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2016の開催	推進	推進
	② 多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進【生物多様性に再掲】			—	・民間団体主催イベントへの出展 ・スポーツチームと協力した環境活動に関する普及啓発 ・他分野が行うイベント等への後援等	・スポーツチームと協力した環境活動に関する普及啓発 ・他分野が行うイベント等への後援等	・スポーツチームと協力した環境活動に関する啓発 ・他分野が行うイベント等への後援等	推進	推進
	③ 「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム【環境と経済、生物多様性に再掲】			—	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	推進	推進
(2) 企業の環境行動	① 企業の環境行動の広報【生物多様性に再掲】			—	・ヨコハマ環境行動フェスタステージイベントへの企業参加、連携した広報	・横浜環境活動賞で8企業を表彰 ・受賞企業の取組の広報実施	・横浜環境活動賞で3企業を表彰 ・受賞企業の取組の広報実施	推進	推進
	② 企業とのコミュニケーション			—	・取組推進のためのパンフレットのWeb掲載 ・横浜市環境保全協議会、横浜商工会議所と連携し、「こども『エコ活。』大作戦！2014」を実施	・取組推進のためのパンフレットのWeb掲載、講演 ・横浜市環境保全協議会および横浜商工会議所、国連WFPと連携し、「こども『エコ活。』大作戦！2015」を実施	・取組推進のためのパンフレットのWeb掲載 ・横浜市環境保全協議会、横浜商工会議所、国連WFPと連携し、「こども『エコ活。』大作戦！2016」を実施	推進	推進
(3) 環境活動のネットワークづくり	① 環境行動の実践に向けた広報・啓発【生物多様性に再掲】			—	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2014開催	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2016開催	推進	推進
	② 連携・交流のプラットフォームづくり【生物多様性に再掲】			—	・業務研究・改善事例発表会にて周知	・業務研究・改善事例発表会にて周知	・業務研究・改善事例発表会にて周知	推進	推進
	③ 活動団体への支援【生物多様性に再掲】			—	・5団体、340千円の環境保全活動団体助成金交付 ・10団体・企業の横浜環境活動賞表彰	・1団体、76千円の環境保全活動団体助成金交付 ・17個人・団体・企業の横浜環境活動賞表彰	・2団体、150千円の環境保全活動団体助成金を交付 ・12個人・団体・企業に横浜環境活動賞表彰	推進	推進
	④ 愛護会などの支援【生活環境に再掲】	・公園愛護会の活動支援	2457団体	2,417団体	2,432団体を支援	2,450団体を支援	2,466団体を支援	2,466団体	100%
		・ハマロードサポーターの活動支援	495団体	387団体	404団体を支援	423団体を支援	452団体を支援	452団体	91%
・水辺愛護会の活動距離		60,198m	58,198m	活動距離 59,068m	59,418m	59,418m	59,418m	99%	
⑤ 地域での環境行動の推進			—	各区において推進	各区において推進	各区において推進	推進	推進	
(4) 「学び」の輪づくり	① ヨコハマ・エコ・スクール(YES)の展開【地球温暖化対策に再掲】		250回/年	—	377回/年	・395回/年	370回/年	1,142回/3か年平均380回/年	114%
	② 生物多様性でYES!【生物多様性に再掲】		10,500人/年	—	8,180人/年	・8,895人/年	7,552人/年	24,627人/3か年	59%
	③ 「エコ活。」の推進【地球温暖化対策に再掲】	・参加児童数	32,000人/年	—	児童40,481人、238校参加	・37,595人/年	38,383人/年	116,459人/3か年	91%
		・エネルギーやCO2の見える化の推進		—	エネルギー利用に関する啓発リーフレット作成	・市ホームページを利用した環境家計簿の普及啓発	・市ホームページを利用した環境家計簿の普及啓発	推進	推進
	④ 自然体験活動の推進			—	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施(参加者数:1,524人) ・社会資源等を活用した自然・社会体験プログラムの実施(参加者数:179人)	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施(参加者数:893人) ・自然・社会資源等を活用した体験プログラムの実施(参加者数:877人)	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施(参加者数:830人)	推進	推進
	⑤ 環境教育に先進的に取り組む学校への支援			—	56校(累計) 支援	・60校(累計)支援	64校(累計) 支援	推進	推進
⑥ 動物園等における環境教育【生物多様性に再掲】		330件	350件	376件/年	・375件/年	412件/年	1,163件/3か年	88%	
(5) 横浜市役所環境行動宣言による取組の推進	① 横浜市環境マネジメントシステムの推進【地球温暖化対策に再掲】			—	環境行動目標策定、総合環境研修・内部監査実施	・環境行動目標の策定 ・総合環境研修、内部監査の実施	・環境行動目標策定、総合環境研修、内部監査実施 ・日常の事務事業活動における環境負荷の低減や、研修の実施を重点取組とした新たな横浜市環境マネジメントシステムを構築	推進	推進

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(1) 環境分野における需要の創出を通じたビジネスチャンスの拡大	① 横浜スマートシティプロジェクトの展開【再掲】	・フォーラムの開催 ・海外プロモーション		—	YSCPフォーラム開催(8月)	・YSCPフォーラム開催(6月、160名参加) ・視察対応(計20名参加)	・横浜スマートシティプロジェクトのプロモーション動画制作 ・国内外からの視察対応や、講演等を通してPRを実施	推進	推進
	② 住宅用スマートエネルギー設備の普及促進【地球温暖化対策に再掲】	・HEMSなどの導入件数	6000件《4か年》	—	住宅用スマートエネルギー設備、太陽熱利用システム 計141件導入	401件(累計542件)	544件(累計1,086件)	1,086件	18%
	③ 住まいのエコリノベーションの推進【地球温暖化対策に再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築、推進		—	・32件実施 ・「よこはまエコリノベーションアカデミー」開催	・28件(戸建住宅18件、共同住宅等10件)実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催	・「エコリノベーション補助制度」により一戸建て住宅12件、共同住宅等2件のエコリノベーションを実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催	推進	推進
	④ 次世代自動車(FCV等)の普及促進【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】	・FCVの普及台数	200台《4か年》	—	市内登録台数 10台 うち公用車導入(1台)	市内登録台数 24台 うちFCV導入補助実施(10台)・ 公用車導入(3台)	市内登録台数 61台 うちFCV導入補助実施(19台)・ 公用車導入(3台)	61台	31%
		・水素ステーションの整備数	10か所《4か年》	—	固定式水素ステーション2か所開所(旭区・泉区) 移動式水素ステーション2か所開所(中区・都筑区)	・固定式水素ステーション1か所開所(南区)	・固定式水素ステーション1か所開所(港北区)	6か所	60%
		・公用車・市営バスへの率先導入 ・水素ステーション整備に係る動向調査		—	FCV公用車 1台導入(県内初)	・FCV公用車に3台導入(累計4台) ・固定式水素ステーション設置に対する補助(1か所)	・FCV公用車に3台導入(累計7台) ・固定式水素ステーション設置に対する補助(1か所)	推進	推進
	⑤ 技術相談事業(省エネ相談)	・技術アドバイザー派遣		—	76件派遣	49件派遣	38件派遣	推進	推進
	⑥ 中小製造業設備投資等助成	・設備投資の促進		—	40件 助成	26件(累計66件)	26件(累計92件)	推進	推進
	⑦ 中小企業融資事業(環境・エネルギー対策)	・融資制度の運用		—	3件融資、5,500万円	1件融資、4,000万円	3件融資、3,353万円	推進	推進
	⑧ 京浜臨海部エリアの活性化	・推進		—	推進	・テーマ「環境・エネルギー」の意見交換会開催(3回) ・日産自動車とJ-オイルミルズ間でエネルギー融通開始	・京浜臨海部活性化協議会の場を活用して企業間連携によるエネルギーの効率的な利用等を促進 ・28年2月から運用を開始している日産自動車とJ-オイルミルズ間のエネルギー融通(蒸気供給)の取組みが平成28年度省エネ大賞を受賞。他の立地企業にも周知 ・日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証実験施設を新設するユーグレナに対して、企業立地促進条例の適用を認定	推進	推進
⑨ 防犯灯や商店街街路灯などの省エネ対策の推進	・防犯灯のLED化	86%《4か年》	21%	85% LED化	87%	99%	99%	115%	
	・商店街街路灯の高効率化	1000基《4か年》	—	328基	312基(累計640基)	468基(累計1,108基)	1,108基	111%	

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

【環境と経済】

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(2) 環境分野における市内企業の技術革新(イノベーション)推進	① 横浜グリーンバレーの推進 【地球温暖化対策に再掲】	・エネルギーグリッドの構築 ・産業団地の見える化		—	・エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施 ・エネルギーマネジメントシステムの開発事業者を公募	・エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施 ・エネルギーマネジメントシステムへの参加事業所を募集	・エネルギーマネジメントシステムへの参加事業所を募集(継続)	推進	推進
	② 成長発展分野育成支援事業	・助成件数	15件《4か年》	—	3件 助成	2件 (累計5件)	3件 (累計8件)	8件	53%
	③ 中小企業支援コーディネート事業	・マッチング社数	600社《4か年》	—	150件 マッチング	165件(累計315件)	155社 (累計470件)	470件	78%
	④ 横浜環境ビジネス支援事業	・スマートセルプロジェクトの推進	1プロジェクト《4か年》	—	1プロジェクト支援	支援実施(平成28年2月末で終了)	新規に環境ビジネスネットワーク事業に参画している企業紹介を行うパンフレットを作成	1プロジェクト	100%
	⑤ 成長産業立地促進助成 ※重点産業立地促進助成から名称変更(H28.4~)	・アプローチ件数	1400件《4か年》	—	323件	429件 (累計752件)	404件(累計1 156件)	1,156件	83%
		・国内外での誘致イベント参加企業数	500社《4か年》	—	196社	400社 (累計596社)	100社 (累計696件)	696件	139%
		・重点産業助成を活用した企業誘致件数	80件《4か年》	—	20件	20件 (累計40件)	20件 (累計60件)	60件	75%
⑥ 省エネ住宅の促進と市内企業の事業機会拡大	・推進		—	検討	・省エネ住宅ビジネスセミナー開催	・横浜市エコ住宅セミナー、EcoHouseBusiness研究会を開催	推進	推進	
(3) 地域資源を生かしたシティプロモーションの展開	① 「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム 【環境と人・地域社会、生物多様性に再掲】	・推進		—	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	推進	推進
	② 公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業) 【再掲】	・都市づくりのアドバイザー ・横浜のシティプロモーション ・市内企業の海外展開支援		—	・海外都市インフラ推進支援 ・民間企業・国際的な機関との連携協定、海外都市との覚書にもとづく技術協力、アジアスマートシティ会議開催ほか	・海外都市インフラの推進支援 ・民間企業・国際的な機関との連携協定、海外都市との覚書にもとづく技術協力 ・第4回アジアスマートシティ会議開催 ・海外からの視察受入れ(889人)	・海外都市インフラの推進支援 ・民間企業・国際的な機関との連携協定、海外都市との覚書にもとづく技術協力 ・第5回アジアスマートシティ会議開催(46都市参加) ・海外からの視察受入れ(1,158人)	推進	推進
	③ 動物園におけるシティプロモーションの展開	・推進		—	交通広告、大型イベントや高速道路サービスエリアの観光イベント等でのPR実施	交通広告、大型イベントや高速道路サービスエリアの観光イベント等でのPR実施	高速道路を活用した広域的広報 ・大型イベントでのPR ・鉄道交通広告によるPR ・テレビ、ラジオ、広報誌等によるPR	推進	推進
	④ スマートイルミネーション横浜の開催	・来場者数	24万人/年	—	・18万4千人/年	・21万6千人/年	・19万9千人/5日間	59万9千人/3か年平均20万人/年	62%
		・参加協力団体	42団体/年	—	・42団体/年	・38団体/年	・17団体/年	97団体/3か年平均32団体/年	58%

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(4) 新興国等での環境対策の支援と環境ビジネスの海外での戦略的展開	① 公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業)【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> 都市づくりのアドバイザー 横浜のシティプロモーション 市内企業の海外展開支援 		—	<ul style="list-style-type: none"> 海外都市インフラ推進支援 民間企業・国際的な機関との連携協定、海外都市との覚書にもとづく技術協力、アジアスマートシティ会議開催ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 海外都市インフラの推進支援 民間企業・国際的な機関との連携協定 海外都市との覚書にもとづく技術協力 第4回アジアスマートシティ会議開催 海外からの視察受入れ(889人) 	<ul style="list-style-type: none"> 海外都市インフラの推進支援 民間企業・国際的な機関との連携協定、海外都市との覚書にもとづく技術協力 第5回アジアスマートシティ会議開催(46都市参加) 海外からの視察受入れ(1,158人) 	推進	推進
	② 横浜スマートシティプロジェクトの展開【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムの開催 海外プロモーション 		—	YSCPフォーラム開催(8月)	<ul style="list-style-type: none"> YSCPフォーラム開催(6月、160名参加) 視察対応(計20名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜スマートシティプロジェクトのプロモーション動画制作 国内外からの視察対応や、講演等を通してPRを実施 	推進	推進
	③ 公民連携による海外水ビジネスの国際展開	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業 水ビジネス協議会会員企業との連携 		—	会員企業との合同調査(ベトナム・ハノイ市・フエ市)、横浜ウォーター(株)との合同調査(サウジアラビア等)	<ul style="list-style-type: none"> 会員企業との合同調査(ベトナム国ハノイ市及びフエ市) 	<ul style="list-style-type: none"> 会員企業との合同調査実施 技術セミナーの開催 	推進	推進
		<ul style="list-style-type: none"> 国際貢献活動の拠点(北部下水道センター)としての本格供用 視察・研修の受入等を通じた本市技術のPR 		—	海外上下水道関係者と会員企業のビジネスマッチング実施(ベトナム・ハノイ市・フエ市、サウジアラビア等)、視察・研修受け入れ、水環境ソリューションハブ拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> 水・環境ソリューションハブの拠点整備 海外上下水道関係者と会員企業のビジネスマッチングを実施(ベトナム国ハノイ市及びフエ市、アフリカ、イラク、サウジアラビア等) 	<ul style="list-style-type: none"> 水・環境ソリューションハブの拠点運用 海外上下水道関係者と会員企業のビジネスマッチングを実施(ベトナム、イラン、パナマ、ミャンマー、モンゴル等) 	推進	推進
	④ 国内外の都市との低炭素連携の推進【地球温暖化対策に再掲】	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市間の情報交換 		—	九都県市との情報交換	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市との情報交換及び九都県市の連携による普及啓発活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市との情報交換を実施するとともに、九都県市の連携による普及啓発活動の展開を行った。 	推進	推進
<ul style="list-style-type: none"> 地域間の連携 		—	北海道下川町との連携	<ul style="list-style-type: none"> 北海道下川町との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道下川町との連携 	推進	推進		
<ul style="list-style-type: none"> 海外都市との連携 		—	C40(世界大都市気候先導グループ)会議出席、「国際カーボンニュートラル都市ネットワーク」に選出ほか	<ul style="list-style-type: none"> COP21に向けた都市間会合「Our Cities, Our Climate」に日本で唯一招へい OECD「高齢社会における持続可能な都市政策」プロジェクトのケーススタディ都市に選定 JICAによる、「バンコク都気候変動マスタープラン(2013-2023年)策定・実施能力向上プロジェクト」に参画 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜スマートシティプロジェクトがC40シティーズアワード2016クリーンエネルギー部門受賞 COP22(ジャバンプビリオン内)など国際会議での情報発信を実施 	推進	推進		
⑤ 環境保全技術に関する国際貢献	<ul style="list-style-type: none"> 横浜上海技術交流の実施 海外研修生の受入 		—	JICA横浜主催「青年研修事業」参画、上海市への職員派遣	<ul style="list-style-type: none"> 上海市環境保護局6名を受入れ技術交流実施 フィリピン国から15名の研修生を受入 	<ul style="list-style-type: none"> 技術交流実施 研修生受入実施 	推進	推進	
(5) 横浜の特色ある都市農業の推進と先進的生産技術の発信	① 市民や企業等との連携(地産地消の推進)【食と農に再掲】	<ul style="list-style-type: none"> 企業等との連携 	50件	7件	5件の連携	8件(累計13件)	12件(累計25件)	25件	50%
	② 6次産業化など付加価値を高める取組の推進【食と農に再掲】	<ul style="list-style-type: none"> 生産設備等支援 	30件《4か年》	—	調査	5件支援	2件支援(累計7件)	7件	23%
	③ 横浜型次世代植物工場技術の発信	<ul style="list-style-type: none"> 推進 		—	<ul style="list-style-type: none"> 企業の見学会への参加者数: 5,896名(H25~H26延べ) 植物工場野菜の普及イベント参加者数: 1,340名 	<ul style="list-style-type: none"> 販路開拓支援や啓発セミナー実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2016年7月27日~29日に東京ビッグサイトで開催された植物工場の展示会「GPEC2016」において、市内企業2社の植物工場技術の発信・PRを実施 	推進	推進

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

【環境とまちづくり】

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(1) 都心部におけるエコまちづくりの推進	① エキサイトよこはま22における環境取組【生物多様性に再掲】	・推進		—	省エネ、低CO ₂ を実現する建築計画、自然換気・自然採光の取り入れ、再生可能エネルギー導入等推進	・まちづくりガイドラインを改定しCO ₂ 排出原単位を見直し ・東口再開発予定地区におけるエネルギーの面的利用に関する検討実施	・東口のエネルギー面的利用想定エリア内建物所有者にヒアリングを行うとともに事業予定者への参画意向確認を行うことで、対象想定エリアを絞り込み	推進	推進
	② みなとみらい21地区における環境取組の推進【地球温暖化対策、生物多様性に再掲】	・みなとみらい2050プロジェクトの推進		—	アクションプラン策定	・5つの公民連携のプロジェクトチームで推進	・5つの公民連携プロジェクトチームで推進	推進	推進
		・みなとみらい21地区中央地区の公共空間への緑化推進		—	みなとみらい3号線の緑化推進	・みなとみらい4号線の緑化推進	・みなとみらい4号線の緑化推進 ・横浜美術館の緑化推進	推進	推進
	③ 横浜スマートシティプロジェクトの推進【地球温暖化対策に再掲】	・HEMSの導入促進		—	国内最大規模の実証実験	・全区で「市民との意見交換会」開催(88名参加) ・動画コンテンツ「おうちde省エネ」でHEMSを普及啓発	・「おうちde省エネ」の続編となる動画コンテンツの制作 ・「おうちde省エネ」関連動画を活用したHEMSの普及啓発	推進	推進
④ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり【水とみどりに再掲】	・推進		—	・魅力・賑わいづくり:6か所 ・良好な維持管理:3か所	・都心臨海部の緑花4か所 ・緑花の維持管理4か所	都心臨海部の緑化12か所 緑花の維持管理8か所	22か所 15か所	推進	
(2) コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり	① 鉄道駅周辺の拠点整備	拠点整備	完了3地区、事業8地区《4か年》	3地区完了	6地区事業中	・6地区事業中、2地区完了	7地区事業中、2地区完了	7地区事業中、2地区完了(3か年)	推進
		・緑化の推進		—	緑化推進	・緑化推進	・緑化推進	推進	推進
	② 地域まちづくりの誘導・推進	・地域まちづくりの件数	40件《4か年》	10件	市民発意のまちづくり活動等支援11件	・13件(累計24件)	10件	34件(3か年)	85%
	③ 人口減少を踏まえた住環境などの充実	・「持続可能な住宅モデルプロジェクト」推進		—	4地区で推進	4地区で推進	4地区で推進	推進	推進
・土地誘導手法などの検討・推進		—	横浜型コンパクトなまちづくり実現のための検討	・「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、「都市再開発の方針」等の市素案(案)作成	・「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、「都市再開発の方針」等の市素案作成	推進	推進		
(3) つながりの海(まちづくりと連携した海づくり)	① 京浜臨海部の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進		—	人工干潟設置等取組推進	・平成25年度設置の人工干潟流出で、干潟設置が困難であることがわかった	・モデル的に人工干潟を設置し、維持管理や台風時の波の影響等の課題を確認し、2016年度に取組を完了	推進	推進
	② 都心臨海部の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進		—	山下公園前海域において民間企業との共同研究、アマモ植え付け	・山下公園前海域で民間企業と共同研究実施 ・自動車護岸水域の藻場形成取組で、アマモ植え付け箇所数増加	・実験箇所(アマモ場周辺)において、これまで見られなかった生物や未成魚を確認	推進	推進
	③ 金沢区野島海岸周辺の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進		—	・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(参加者数:1,176人) ・野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供(参加者数:6,252人)	・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(参加者数:423人) ・野島青少年研修センターの自然体験プログラム提供(参加者数:6,675人)	・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(参加者数:567人) ・野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供(参加者数:12,797人)	推進	推進
	④ 金沢区白帆地区の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進		—	・アマモの播種、花枝採取、自然学習イベント実施	・アマモの播種、花枝採取、自然学習イベント実施	・アマモの花枝採取、自然学習イベントを実施	推進	推進
	⑤ 横浜ブルーカーボン事業の推進	・推進		—	カーボンオフセット社会実験実施、PRイベント開催	・カーボン・オフセットの社会実験を実施 ・事業の広報や、環境啓発イベント開催	・カーボン・オフセットの独自制度の運用を開始 ・事業の広報や、環境啓発イベント開催	推進	推進

主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況		
				2014年度	2015年度	2016年度				
(4)人やモノが移動しやすく環境にやさしい交通・物流体系の形成	① 交通ネットワークの整備による環境負荷低減	・神奈川東部方面線の整備推進		—	工事実施	・「西谷～羽沢間(相鉄・JR直通線)」の工事推進 ・「羽沢～日吉間(相鉄・東急直通線)」全区間で土木工事に着手	・「相鉄・JR直通線」(西谷～羽沢間)は、引き続き工事を推進 ・「相鉄・東急直通線」(羽沢～日吉間)は、用地取得、全区間において本格的に工事を実施	推進	推進	
		・交通政策審議会答申路線の事業化検討		—	基礎的な調査着手	・高速鉄道3号線の延伸の事業化に向けた基礎的な調査 ・横浜環状鉄道等の事業性検討	・高速鉄道3号線の延伸の事業化に向けた基礎的な調査 ・横浜環状鉄道等の事業性検討	推進	推進	
		・関内駅北口および周辺整備事業の完了		—	駅舎改良工事本格着手	・駅舎改良工事における基礎工事が概ね完了	・駅舎改良工事における駅舎部分の建築工事が概ね完了(平成29年4月新駅舎供用開始)	推進	推進	
		・横浜環状道路等の整備推進		—	・横浜環状道路の整備推進 ・幹線道路1.25km整備 ・地域道路475m整備	・横浜環状道路の整備推進 ・幹線道路5.02km整備※ ・地域道路163m整備	横浜環状道路の整備推進 幹線道路-2.83km整備 地域道路-0.34km整備	推進	推進	
	② モビリティマネジメントの推進【地球温暖化対策に再掲】		・実施目標	12件《4か年》	17件	出前講座、バスマップ更新、啓発マンガリーフレット作成・配布、啓発ポスター作成・掲出等による公共交通の利用促進	・小学校4校でのモビリティマネジメント出前授業開催 ・区別バスマップ更新(5区) ・小学生ポスターコンクール開催 ・学生と連携した公共交通の利用促進を実施	・小学校6校でのモビリティマネジメント出前授業開催 ・区別バスマップ更新(5区) ・小学生ポスターコンクール開催 ・公共交通の利用促進に繋がるシンポジウム開催	14件	117%
	③ 地域交通サポートの推進【地球温暖化対策に再掲】		・地域交通サポートの取組支援	28地区《累計》	20地区	・本格運行:3地区 ・新規取組地区:4地区 ・取組支援地区:24地区	・実証運行地区:3地区 ・取組支援地区:24地区	・取組支援地区:27地区	27地区	96%
	④ 徒歩や自転車による快適で楽しい交通環境の整備【地球温暖化対策に再掲】		・バリアフリー化整備延長	8.0km《4か年》	27.8km	3.4km完成	・2.2km(累計5.6km)	4.1km(累計9.7km)	9.7km	121%
		・横浜都心部コミュニティサイクル事業推進	—	H26年4月からの本格実施、H27年3月から電動アシスト自転車全車導入	・自転車の貸出・返却拠点を5箇所増設(全44か所) ・広報等の普及に向けた取組により登録者数12,791人増加(全38,879人)	・自転車の貸出・返却拠点を2箇所増設(全46か所) ・広報等の普及に向けた取組により登録者数16,067人増加(全54,946人)	推進	推進		
		・自転車レーンの整備	8.0km《4か年》	12.8km	西区みなとみらい地区、旭区善部町、泉区和泉町、鶴見区鶴見中央1丁目 計3.93km整備	・1.72km(累計5.65km)	2.19km(累計7.84km)	7.84km	98%	
⑤ 次世代自動車(FCV等)の普及促進【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】		・FCVの普及台数	200台《4か年》	—	市内登録台数 10台 うち公用車導入(1台)	市内登録台数 24台 うちFCV導入補助実施(10台)・ 公用車導入(3台)	市内登録台数 61台 うちFCV導入補助実施(19台)・ 公用車導入(3台)	61台	31%	
		・水素ステーションの整備数	10か所《4か年》	—	固定式水素ステーション2か所開所(旭区・泉区) 移動式水素ステーション2か所開所(中区・都筑区)	・固定式水素ステーション1か所開所(南区)	・固定式水素ステーション1か所開所(港北区)	6か所	60%	
⑥ 超小型モビリティなど次世代交通の推進【地球温暖化対策に再掲】		・推進	—	—	チョイモビ ヨコハマ実証実験 EVワンウェイ型カーシェアリング「smaco」サポート実施	・チョイモビヨコハマ実証実験 ・EVスマートワンウェイカーシェアリング(smaco)、EV、PHV用充電器の大規模設置のサポート実施	・チョイモビヨコハマ実証実験 ・地球温暖化対策に関する国民行動「COOL CHOICE」の普及啓発として、環境に関するイベント等に出展	推進	推進	

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

主な取組	目標	目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況	
			2014年度	2015年度	2016年度			
(4)人やモノが移動しやすく環境にやさしい交通・物流体系の形成	⑦ 横浜港の低炭素化 【地球温暖化対策に再掲】	・荷役機械や船舶からのCO ₂ 排出削減推進	—	推進	・推進	環境に配慮した船舶の入港を促進する制度(入港料を減免するインセンティブ制度)について、制度設計や諸手続きを実施(2017/4/1開始)	推進	推進
	・グリーン経営認証の取得支援	40社《4か年》	—	10件	10件	10件	30件	75%
	・グリーン物流の推進	—	—	・横浜～東北方面航路等のコンテナのフィーダーサービス推進 ・はしけによる海上コンテナ輸送促進	推進	推進	推進	推進
	・トラック輸送の円滑化推進	—	—	ITを利用した物流の円滑化策検討とコンテナラウンドユース研究会などの実施	ITSを活用した物流の円滑化策の検討実施	ICTを活用した物流の円滑化策の検討を実施	推進	推進
	・臨港道路網の整備推進	—	—	国道357号本牧出口ランプ整備工事 南本牧ふ頭連絡臨港道路工事	国道357号本牧出口ランプ開通 南本牧ふ頭連絡臨港道路整備推進	南本牧ふ頭連絡臨港道路が開通(H29年3月)	推進	推進
	・省エネ、節電の推進	—	—	国際交流ゾーンの省エネ・節電推進	・推進	コンテナヤードにおけるLED照明機器の実地試験を行い、消費電力の抑制や荷役作業への安全性等を確認	推進	推進
	・港のスマート化推進	—	—	横浜港のエネルギーマネジメント導入検討	・自立型水素燃料電池システム(東芝製H2One)を発注(官公庁初)、横浜港流通センターへ実証導入 ・横浜港のエネルギーマネジメント検討 ・横浜港埠頭(株)の太陽光発電の売電先を新電力へ変更 ・大さん橋基部を移動式水素ステーション用地貸借を実施	・自立型水素燃料電池システム(東芝製H2One)に接続する太陽光発電設備を設置し、CO ₂ フリー水素を活用したシステムの運転開始 ・自立型水素燃料電池システムの運転状況等を遠隔で確認するためのWEB監視システムの開発 ・地域の蓄電池を一つの発電所のように使う「仮想発電所(バーチャルパワープラント)」の取組に参加	推進	推進
・民間事業者への啓発等推進	—	—	低炭素化取組PR	・東京湾大感謝祭等のイベントで民間事業者と行う取組紹介、PR実施	・東京湾大感謝祭等のイベントで民間事業者と行う取組紹介、PR実施	推進	推進	

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(5) 環境に配慮した建築物の普及	① 環境配慮型建築物の推進 【地球温暖化対策に再掲】	・推進		—	・セミナー講習会等:3回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,204件 ・低炭素建築物認定申請件数:60件	・セミナー講習会等:5回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,211件 ・低炭素建築物認定申請件数:74件	・セミナー講習会等:4回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,177件 ・低炭素建築物認定申請件数:182件	推進	推進
	② 住まいのエコリノベーションの推進 【環境と経済、地球温暖化対策に再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築、推進		—	・32件実施 ・「よこはまエコリノベーションアカデミー」開催	・28件(戸建住宅18件、共同住宅等10件)実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催	・「エコリノベーション補助制度」により一戸建て住宅12件、共同住宅等2件のエコリノベーションを実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催	推進	推進
	③ 公共建築物の省エネ化の推進 【地球温暖化対策に再掲】	・省エネ改修の推進		—	・ESCO事業公募:1事業 ・省エネルギー改修施設数:10施設 ・地中熱利用空調施設数:1施設	・ESCO事業公募数:1事業(1施設) ・省エネルギー改修施設数:15施設	・ESCO事業公募数:1事業(1施設) ・省エネルギー改修工事:18施設	推進	推進
		・木材利用の促進		—	・ガイドライン策定、公表 ・セミナー等開催(5回)	・建築実務者を対象とした研修会、市民への啓発活動を実施 ・南区総合庁舎木質化整備工事を実施	・公共建築物の木材利用促進として、港南区総合庁舎1階区民ホール、エスカレーターにおいて地域材を用いた不燃木天井による木質化整備や、すすき野地域ケアプラザ新築工事での木造化(2階部分)整備などを実施 ・木材利用を一層推進するため、建築実務者を対象とした研修会を開催するなど、啓発活動を実施	推進	推進
④ 民有地における緑化の助成 【水とみどりに再掲】	・緑化の助成	65件 (2014-2018年度)	—	個人宅、集合住宅、公開性のある地面緑化への助成 計5件	・5件(累計10件)	7件(累計17件)	17件	26%	
(6) 多様なニーズに対応できる快適な公園の整備	① 魅力ある公園の新設・再整備	・新設・再整備公園数	延べ320か所 《4か年》	—	57か所	・74か所(累計131か所)	58か所(189か所)	189か所	59%
	② 土地利用転換に対応した大規模な公園の整備	・鶴見花月園公園の整備着手		—	都市計画手続、地元説明会等実施	・基本設計を実施し、地元説明会を実施 ・既存建築物の取壊工事着手	既存建築物の取り壊しと基盤整備等を実施	推進	推進
		・舞岡町公園の整備着手		—	基本計画策定、地元説明会等実施	・基本設計を実施	説明会の開催など、都市計画手続を推進	推進	推進
		・小柴貯油施設跡地公園の整備着手		—	基本計画策定、環境影響評価手続き着手	・基本設計を実施 ・自然環境調査を実施(環境影響評価手続)	実施設計を進めるとともに、説明会の開催など都市計画及び環境影響評価手続を推進	推進	推進
③ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり 【環境とまちづくり、水とみどりに再掲】	・推進		—	・魅力・賑わいづくり:6か所 ・良好な維持管理:3か所	・都心臨海部の緑花4か所 ・緑花の維持管理4か所	都心臨海部の緑花12か所 緑花の維持管理8か所	22か所 15か所	推進	
(7) 安心して生活するための下水道・河川の浸水対策	① 下水道の整備	・時間当たり約50mmの降雨における雨水幹線等の整備率	66.4%	65.1%	整備率65.9%	・65.9%	65.9%	65.9%	99%
		・時間当たり約60mmの降雨における雨水幹線等の整備率	63.1%	56.7%	整備率60.8%	・62.5%	62.5%	62.5%	99%
	② 浸水予測情報の周知	・内水ハザードマップの作成・公表(北部方面)		—	内水ハザードマップの作成・公表(北部方面)	・内水ハザードマップ(北部方面)の各区配布の開始 ・防災講演会、出前講座における講師実施	・内水ハザードマップの普及啓発のため防災講演会、出前講座における講師実施	推進	推進
③ 河川の整備	・河川改修による想定氾濫区域面積の削減(約50mm/h)	540ha	575ha	575ha	575ha	558ha (名瀬川改修完了)	558ha	推進	

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況	
				2014年度	2015年度	2016年度			
(1) 低炭素なまちづくりに向けたエネルギーマネジメントの推進	① 横浜スマートシティプロジェクトの推進【環境とまちづくり再掲】	・HEMSの導入促進	—	国内最大規模の実証実験	・全区で「市民との意見交換会」開催(88名参加) ・動画コンテンツ「おうちde省エネ」でHEMSを普及啓発	・「おうちde省エネ」の続編となる動画コンテンツの制作 ・「おうちde省エネ」関連動画を活用したHEMSの普及啓発	推進	推進	
	② みなとみらい2050プロジェクトの推進【環境とまちづくり、生物多様性に再掲】	・みなとみらい2050プロジェクトの推進	—	アクションプラン策定	・5つの公民連携のプロジェクトチームで推進	・5つの公民連携プロジェクトチームで推進	推進	推進	
	③ 横浜グリーンバレーの推進【環境と経済に再掲】	・エネルギーグリッドの構築 ・産業団地の見える化	—	・エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施 ・エネルギーマネジメントシステムの開発事業者を公募	・エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施 ・エネルギーマネジメントシステムへの参加事業所を募集	・エネルギーマネジメントシステムへの参加事業所を募集(継続)	推進	推進	
	④ 横浜港の低炭素化【環境とまちづくりに再掲】	・トラック輸送の円滑化推進	—	ITを利用した物流の円滑化策検討とコンテナラウンドユース研究会などの実施	ITSを活用した物流の円滑化策の検討実施	ICTを活用した物流の円滑化策の検討を実施	推進	推進	
		・港のスマート化推進	—	横浜港のエネルギーマネジメント導入検討	・自立型水素燃料電池システム(東芝製H2One)を発注(官公庁初)、横浜港流通センターへ実証導入 ・横浜港のエネルギーマネジメント検討 ・横浜港埠頭(株)の太陽光発電の売電先を新電力へ変更 ・大さん橋基部を移動式水素ステーション用地貸借を実施	・自立型水素燃料電池システム(東芝製H2One)に接続する太陽光発電設備を設置し、CO ₂ フリー水素を活用したシステムの運転開始 ・自立型水素燃料電池システムの運転状況等を遠隔で確認するためのWEB監視システムの開発 ・地域の蓄電池を一つの発電所のように使う「仮想発電所(バーチャルパワープラント)」の取組に参加	推進	推進	
⑤ 水素エネルギーの活用検討	・検討	—	エネルギーアクションプラン策定	・公民連携による下水バイオガス利活用の研究 ・横浜港のスマート化推進(自立型水素エネルギー供給システム導入) ・公民連携によるCO ₂ フリー水素サプライチェーン構築の実証実験	・公民連携によるCO ₂ フリー水素サプライチェーン構築の実証事業 ・水素ステーション、燃料電池自動車、燃料電池の普及促進	推進	推進		
(2) 住宅・建築物の温暖化対策の促進	① 住宅用スマートエネルギー設備の普及促進【再掲】	・HEMSなどの導入件数	6000件(4か年)	—	住宅用スマートエネルギー設備、太陽熱利用システム 計141件導入	401件(累計542件)	544件(累計1,086件)	1,086件	18%
	② 環境配慮型建築物の推進【再掲】	・推進	—	・セミナー講習会等:3回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,204件 ・低炭素建築物認定申請件数:60件	・セミナー講習会等:5回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,211件 ・低炭素建築物認定申請件数:74件	・セミナー講習会等:4回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,177件 ・低炭素建築物認定申請件数:182件	推進	推進	
	③ 住まいのエコリノベーションの推進【再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築・推進	—	・32件実施 ・「よこはまエコリノベーションアカデミー」開催	・28件(戸建住宅18件、共同住宅等10件)実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催	・「エコリノベーション補助制度」により戸建て住宅12件、共同住宅等2件のエコリノベーションを実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催	推進	推進	

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

	主な取組	目標	目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
				2014年度	2015年度	2016年度		
(2) 住宅・建築物の温暖化対策の促進	④ 公共建築物の省エネ化の推進【再掲】	・省エネ改修の推進	—	・ESCO事業公募:1事業 ・省エネルギー改修施設数:10施設 ・地中熱利用空調施設数:1施設	・ESCO事業公募数:1事業(1施設) ・省エネルギー改修施設数:15施設	・ESCO事業公募数:1事業(1施設) ・省エネルギー改修工事:18施設	推進	推進
		・木材利用の促進	—	・ガイドライン策定、公表 ・セミナー等開催(5回)	・建築実務者を対象とした研修会、市民への啓発活動を実施 ・南区総合庁舎木質化整備工事を実施	・公共建築物の木材利用促進として、港南区総合庁舎1階区民ホール、エスカレーターにおいて地域材を用いた不燃木天井による木質化整備や、すすき野地域ケアプラザ新築工事での木造化(2階部分)整備などを実施 ・木材利用の一層の推進を図るため、建築実務者を対象とした研修会を開催するなど、啓発活動を実施	推進	推進
(3) 公共施設における未利用エネルギー等のさらなる活用検討・導入	① 下水道施設及びごみ焼却施設における再エネ・未利用エネの活用	・消化ガス発電の推進	—	・使用実績:20,004,278Nm ³	・消化ガス発電使用実績: 19,580,268 Nm ³	・消化ガス発電使用実績 20,014,258Nm ³ ・焼却灰等資源有効利用量 改良土:5,854Dst 燃料化:2,885Dst	推進	推進
		・汚泥燃料化の推進	—	・南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業を推進	・南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業を推進	・南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業を推進 ・北部汚泥資源化センター汚泥処理・有効利用事業を推進	推進	推進
		・神奈川水再生センターなどでの太陽光発電事業	—	発電実績:389,116kWh	売電実績 神奈川水再生センター: 1,047,951kWh(4月~3月) 西部水再生センター:323,275kWh (12月~3月)	・売電実績 神奈川水再生センター: 1,026,767kWh 西部水再生センター: 1,248,805kWh	推進	推進
		・余剰電力の売却によるCO ₂ の排出削減	—	・CO ₂ 削減量:約10.6万tCO ₂	・CO ₂ 削減量:約9.6万tCO ₂	CO ₂ 削減量:約8.4万tCO ₂	推進	推進
	② 生ごみ等の減量化・資源化推進事業【再掲】	・生ごみ等のバイオガス化の実現可能性を検討	—	バイオガス化実現可能性検討、食品ロス削減等啓発のためのPR等実施	・バイオガス化の費用対効果について試算	施設が稼働している他都市の実績調査、バイオガス化技術及び国の補助制度に関する情報収集	推進	推進
③ 使用済食用油のバイオディーゼル燃料の活用	・重油及び軽油の代替使用	640kL《4か年》	—	精製量:152,746L	・151kL(累計304kL)	111kL(累計415kL)	415kL	65%
④ 水道施設における再生可能エネルギーの推進	・小水力、太陽光発電の設置	504kW (2014-2015年度)	—	川井浄水場セラロッカ太陽光発電設備等 計420kW設置	・35kW(恩田配水池小水力発電設備設置)(累計455kW)	49kW(今井配水池小水力発電設備設置)(累計504kW)	504kW	100%
⑤ 特別避難所への再生可能エネルギーの導入	・公設施設への導入	35施設 (2014-2015年度)	—	8施設	・27施設(累計35施設)	2015年度で事業終了	35施設	100%
⑥ 横浜市風力発電所(ハマウイング)の活用	・発電量	800万kWh 《4か年》	—	217万kWh	・180万kWh(累計397万kWh)	153万kWh(累計550万kWh)	550万kWh	69%
	・見学者数	6500人《4か年》	—	576人	・716人(累計1,292人)	502人(累計1,794人)	1,794人	28%

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況	
				2014年度	2015年度	2016年度			
(4) 低炭素交通の普及促進	① 燃料電池自動車(FCV)の普及促進 【環境と経済、環境とまちづくりに再掲】	・FCVの普及台数	200台《4か年》	—	市内登録台数 10台 うち公用車導入(1台)	市内登録台数 24台 うちFCV導入補助実施(10台)、公用車導入(3台)	市内登録台数(61台) うちFCV導入補助実施(19台)、公用車導入(3台)	61台	31%
		・公用車・市営バスへの率先導入 ・水素ステーション整備に係る動向調査	—	—	FCV公用車 1台導入(県内初)	・FCV公用車に3台導入(累計4台) ・固定式水素ステーション設置に対する補助(1か所)	・FCV公用車に3台導入(累計7台) ・固定式水素ステーション設置に対する補助(1か所)	推進	推進
	② 超小型モビリティなど次世代交通の推進 【環境とまちづくりに再掲】	・推進	—	—	チョイモビ ヨコハマ実証実験 EVワンウェイカーシェアリング「smaco」サポート実施	・チョイモビヨコハマ実証実験 ・EVスマートワンウェイカーシェアリング(smaco)、EV、PHV用充電器の大規模設置のサポート実施	・チョイモビヨコハマ実証実験 ・地球温暖化対策に関する国民行動「COOL CHOICE」の普及啓発として、環境に関するイベント等に出展	推進	推進
	③ 自転車や公共交通への利用転換の促進 【環境とまちづくりに再掲】	・横浜都心部コミュニティサイクル事業推進	—	—	H26年4月からの本格実施、H27年3月から電動アシスト自転車全車導入	・自転車の貸出・返却拠点を5箇所増設(全44か所) ・広報等の普及に向けた取組により登録者数12,791人増加(全38,879人)	・自転車の貸出・返却拠点を2箇所増設(全46か所) ・広報等の普及に向けた取組により登録者数16,067人増加(全54,946人)	推進	推進
		・実施目標	12件《4か年》	17件	出前講座、バスマップ更新、啓発マンガリーフレット作成・配布、啓発ポスター作成・掲出等による公共交通の利用促進	・小学校4校でのモビリティマネジメント出前授業開催 ・区別バスマップ更新(5区) ・小学生ポスターコンクール開催 ・学生と連携した公共交通の利用促進を実施	・小学校6校でのモビリティマネジメント出前授業開催 ・区別バスマップ更新(5区) ・小学生ポスターコンクール開催 ・公共交通の利用促進に繋がるシンポジウム開催	14件	117%
		・地域交通サポートの取組支援	28地区《累計》	20地区	・本格運行:3地区 ・新規取組地区:4地区 ・取組支援地区:24地区	・実証運行地区:3地区 ・取組支援地区:24地区	・取組支援地区:27地区	27地区	96%
	④ 横浜港の低炭素化 【環境とまちづくりに再掲】	・荷役機械や船舶からのCO2排出削減推進	—	—	推進	・推進	環境に配慮した船舶の入港を促進する制度(入港料を減免するインセンティブ制度)について、制度設計や諸手続きを実施(2017/4/1開始)	推進	推進
		・グリーン経営認証の取得支援	40社《4か年》	—	10件	10件	10件	30件	75%
		・グリーン物流の推進	—	—	・横浜～東北方面航路等のコンテナのフィーダーサービス推進 ・はしけによる海上コンテナ輸送促進	推進	推進	推進	推進
		・トラック輸送の円滑化推進	—	—	ITを利用した物流の円滑化策検討とコンテナラウンドユース研究会などの実施	ITSを活用した物流の円滑化策の検討実施	ICTを活用した物流の円滑化策の検討を実施	推進	推進
・臨港道路網の整備推進		—	—	国道357号本牧出口ランプ整備工事 南本牧ふ頭連絡臨港道路工事	・国道357号本牧出口ランプ開通 ・南本牧ふ頭連絡臨港道路整備推進	南本牧ふ頭連絡臨港道路が開通(H29年3月)	推進	推進	
(5) 温室効果ガス削減に有効な制度や仕組みの構築	① 地球温暖化対策計画書制度の着実な運用	・制度の着実な運用	—	「横浜市地球温暖化対策計画書制度」に基づいた取組の評価・公表	・「横浜市地球温暖化対策計画書制度」に基づく、報告書(313件)と計画書(11件)の評価・公表 ・温室効果ガスの排出の抑制に関する指針を改正し、計画書制度の見直しを行った。	・「横浜市地球温暖化対策計画書制度」に基づく、報告書(314件)と計画書(276件)の評価・公表 ・第2計画期間(H25～27年度)の対象事業者の報告書の集計結果:9%(40万t-CO ₂)削減(エネルギー転換事業者を除く)。	推進	推進	

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(5) 温室効果ガス削減に有効な制度や仕組みの構築	② 公共施設のエネルギーマネジメント	「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」の目標達成		—	・エネルギーカルテシステムの活用による全庁的な啓発実施 ・「横浜市地球温暖化対策実行計画」進捗管理、管理標準の整備	・エネルギーカルテシステムの活用による全庁的な啓発実施 ・「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」の進捗管理 ・エネルギーカルテシステムの機能拡充など、各施設における自主的な省エネの取組を支援	・エネルギーカルテシステム活用による全庁的な啓発実施 ・「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」の進捗管理等 ・省エネ法に規定される「管理標準」の各施設における整備を進めるため支援 ・27年度の本市の温室効果ガス排出量は24年度(基準年度)と比較して+0.03%	推進	推進
	③ 横浜市環境マネジメントシステムの推進【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		—	環境行動目標策定、総合環境研修・内部監査実施	・環境行動目標の策定 ・総合環境研修、内部監査の実施	・環境行動目標策定、総合環境研修、内部監査実施 ・日常の事務事業活動における環境負荷の低減や、研修の実施を重点取組とした新たな横浜市環境マネジメントシステムを構築	推進	推進
	④ 環境配慮型建築物の推進【環境とまちづくりに再掲】	・推進		—	・セミナー講習会等:3回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,204件 ・低炭素建築物認定申請件数:60件	・セミナー講習会等:5回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,211件 ・低炭素建築物認定申請件数:74件	・セミナー講習会等:4回 ・長期優良住宅認定申請件数:2,177件 ・低炭素建築物認定申請件数:182件	推進	推進
	⑤ 再生可能エネルギー導入検討報告制度の運用	・制度の着実な運用 ・制度の拡充を検討		—	・導入検討報告:112件 ・拡充案検討	・導入検討報告実績98件 ・国の動向等を踏まえ、導入検討を行う対象設備の拡大及び普及推進の方策検討	・導入検討報告実績114件 ・建築物省エネ法など国の動向を踏まえ、再生可能エネルギー利用設備や温室効果ガス排出量の削減に寄与する設備システム等の普及のため、対象設備の拡大について検討	推進	推進
	⑥ 環境分野における市内中小企業の成長支援【環境と経済に再掲】	・推進		—	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進
	⑦ 国内外の都市との低炭素連携の推進【環境と経済に再掲】	・九都県市間の情報交換		—	九都県市との情報交換	・九都県市との情報交換及び九都県市の連携による普及啓発活動の展開	九都県市との情報交換を実施するとともに、九都県市の連携による普及啓発活動の展開を行った。	推進	推進
		・海外都市との連携		—	C40(世界大都市気候先導グループ会議出席、「国際カーボンニュートラル都市ネットワーク」に選出ほか)	・COP21に向けた都市間会合「Our Cities, Our Climate」に日本で唯一招へい ・OECD「高齢社会における持続可能な都市政策」プロジェクトのケーススタディ都市に選定 ・JICAによる、「バンコク都気候変動マスタープラン(2013-2023年)策定・実施能力向上プロジェクト」に参画	・横浜スマートシティプロジェクトがC40シティーズアワード2016クリーンエネルギー部門受賞 ・COP22(ジャバンプビリオン内)など国際会議での情報発信を実施	推進	推進
(6) 市民のライフスタイル変革に向けた「エコ活。」普及	① ヨコハマ・エコスクール(YES)の展開【環境と人・地域社会に再掲】	・YESの講座開催(認定)	250回/年	—	377回/年	・395回/年	370回/年	1,142回/3か年	114%
	② 「エコ活。」の推進【環境と人・地域社会に再掲】	・参加児童数	32,000人/年	—	児童40,481人、238校参加	・37,595人/年	38,383人/年	116,459人/3か年	91%
		・エネルギーやCO2の見える化の推進		—	エネルギー利用に関する啓発リーフレット作成	・市ホームページを利用した環境家計簿の普及啓発	・市ホームページを利用した環境家計簿の普及啓発	推進	推進

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

【生物多様性】

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(1) 普及啓発	① 環境行動の実践に向けた広報・啓発【環境と人・地域社会に再掲】	・毎年実施		—	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2014開催	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2016開催	推進	推進
	② 生物多様性でYES！【環境と人・地域社会に再掲】	・参加者数	10,500人/年	—	8,180人/年	・8,895人/年	7,552人/年	24,627人/3か年	59%
	③ 環境教育に携わる指導者への支援	・推進		—	・講師向けスキルアップ研修実施	・講師向けスキルアップ研修実施	・講師向けスキルアップ研修実施	推進	推進
	④ 動物園等における環境教育【環境と人・地域社会に再掲】	・環境教育事業数	330件	350件	376件/年	・375件/年	412件/年	1,163件/3か年	88%
	⑤ 生物多様性に配慮した消費行動	・推進		—	・イベントを活用した啓発実施	・イベントを活用した啓発実施	・イベントを活用した啓発実施	推進	推進
	⑥ 「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム【環境と人・地域社会、環境と経済に再掲】	・推進		—	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	・主要施設におけるPR ・ハイキングコースのルール・マナー検討	推進	推進
	⑦ 体験フィールドの活性化～横浜の森プロモーション～	・推進		—	・イベント紹介チラシの作成・配布 ・区と連携したPR ・公共交通機関・地域情報誌等を活用した広報展開	・区や動物園と連携したPR ・地域情報誌等を活用した広報を展開	・区や動物園と連携したPR	推進	推進
	⑧ 市民の守りたい、伝えたい谷戸環境の広報	・推進		—	・Webページ開設、イベント等での谷戸環境のPR	・市ホームページを利用した谷戸環境のPR	・市ホームページを利用した谷戸環境のPR	推進	推進
	⑨ 庁内横断による谷戸環境の積極的活用	・推進		—	・Webページ開設、イベント等での谷戸環境のPR	・市ホームページを利用した谷戸環境のPR	・市ホームページを利用した谷戸環境のPR	推進	推進
	⑩ 活動団体への支援【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		—	・5団体、340千円の環境保全活動団体助成金交付 ・10団体・企業の横浜環境活動賞表彰	・1団体、76千円の環境保全活動団体助成金交付 ・17個人・団体・企業の横浜環境活動賞表彰	・2団体、150千円の環境保全活動団体助成金を交付 ・12個人・団体・企業に横浜環境活動賞表彰	推進	推進
	⑪ 多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		—	・民間団体主催イベントへの出展 ・スポーツチームと協力した環境活動に関する普及啓発 ・他分野が行うイベント等の後援等	・スポーツチームと協力した環境活動に関する普及啓発 ・他分野が行うイベント等への後援等	・スポーツチームと協力した環境活動に関する啓発 ・他分野が行うイベント等への後援等	推進	推進
	⑫ 連携・交流のプラットフォームづくり【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		—	・業務研究・改善事例発表会にて周知	・業務研究・改善事例発表会にて周知	・業務研究・改善事例発表会にて周知	推進	推進
	⑬ 森を支えている活動団体のつながりの強化	・研修など交流の場の提供		—	・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナー検討	・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナー検討	・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーの検討	推進	推進
	⑭ 「横浜つながりの森」の調整機能の充実・体制の強化を推進	・推進		—	森全域の共通イベントチラシ作成・配布	Webサイトへの各施設の情報掲載による情報の一元化	Webサイトへの各施設の情報掲載による情報の一元化	推進	推進
	⑮ 外来種に関する普及啓発	・推進		—	・図書館等公共施設でのパネル展示やリーフレットによる啓発 ・職員向けに外来生物に関する啓発を実施	・市施設公開で剥製やパネル、リーフレットによる啓発を実施職員向けに外来生物に関する啓発を実施	・市主催のイベントで剥製やパネルの展示、リーフレットの配布、ワークショップ等及び、Webサイトへの掲載により普及啓発を実施 ・職員向けに外来生物に関する啓発を実施	推進	推進

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

【生物多様性】

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(2) 保全・再生・創造	① 瀬上池の生物多様性を守る～瀬上池の未来づくり～	・推進		—	測量・設計及び土砂流入量の調査、今後の方向性検討	・「瀬上市民の森保全管理計画(瀬上池集水域)」策定 ・外来種の駆除のため瀬上池のかいぼりを実施 ・瀬上池の浚渫や沈砂池の整備(環境改善整備工事实施)	・保全管理計画に基づき、アメリカザリガニの試験的な定量調査・駆除を実施 ・瀬上市民の森環境調査・検討業務の実施	推進	推進
	② 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上 【水とみどりに再掲】	・法面の整備	8か所《4か年》	—	施工中1か所	整備3か所	整備5か所	8か所	100%
	③ 横浜に生息する生き物体験施設の整備	・推進		—	「日本の森」ゾーンの基本設計実施	・「日本の森」ゾーンの実施設設計のための測量実施	・「日本の森」ゾーンの施設内容の検討、調整	推進	推進
	④ アライグマ・タイワンリスによる被害への対策	・推進		—	・アライグマ捕獲数:415頭 ・タイワンリス捕獲数:191頭捕獲 ・捕獲檻の補充:アライグマ用15台、タイワンリス用20台	・アライグマ捕獲数:285頭 ・タイワンリス捕獲数:170頭 ・捕獲檻の補充:アライグマ用17台	・アライグマ捕獲数:446頭 ・タイワンリス捕獲数:380頭 ・捕獲檻の補充:アライグマ用17台	推進	推進
	⑤ 旧小柴貯油施設跡地の公園活用	・工事・着手		—	基本計画策定、環境影響評価手続着手	・基本設計を実施 ・自然環境調査を実施(環境影響評価手続)	公園整備に向けた実施設計を進めるとともに、説明会の実施など都市計画と環境影響評価手続を推進	推進	推進
	⑥ 多様な生き物を育む場づくり(アユが遡上する川づくり) 【水とみどりに再掲】	・帷子川モデルプランの策定		—	基本方針(案)策定	・「アユが遡上する帷子川アクションプラン」策定	・「はまっこアユ遡上プロジェクト」ワーキング実施(3回)	推進	推進
	⑦ 指定・登録文化財の保護育成	・推進		—	生息環境調査、環境整備実施	・国指定天然記念物ミヤコタナゴ保護増殖事業及び生息環境調査事業実施 ・ゲンジボタル生息地の環境整備実施	・国指定天然記念物ミヤコタナゴ保護増殖事業や生息環境保全に関する調査実施 ・こども自然公園のゲンジボタル及びその生息地の保全	推進	推進
	⑧ 国際的な希少動物の保全の取組と国際貢献	・推進		—	カンムリシロムク保護事業(インドネシアとの共同事業)推進	・カンムリシロムク保護事業(インドネシアとの共同事業)実施、インドネシアへカンムリシロムク20羽を送致	・ニューカレドニア希少動物研究交流事業実施(第12回カゲー円卓会議(11月)) ・ニューカレドニア南部州政府と野生動物に関する改正合意書を締結 ・カンムリシロムク保護事業について政府関係者と協議	推進	推進
	⑨ 横浜市及び国内に生息する希少動物の保全の取組	・推進		—	市内カエル、ミゾゴイの飼育繁殖技術研究、スパールバルライチョウ繁殖成功	・市内産カエル2種の飼育繁殖技術研究 ・スパールバルライチョウ飼育繁殖技術の共同研究 ・ニホンライチョウ生息調査 ・ミゾゴイ2羽の繁殖成功(日本初)	・市内産カエル2種を導入し飼育繁殖技術の研究 ・スパールバルライチョウ飼育繁殖技術の確立のための共同研究 ・国内産希少種であるミゾゴイの繁殖技術の向上と飼育繁殖の継続	推進	推進
	⑩ 希少動物の保全に関する調査研究の推進	・繁殖センターが行う調査研究件数	40件	32件	38件(過年度からの継続調査研究を含む)	33件(過年度からの継続調査研究を含む)	31件(過年度からの継続調査研究を含む)	50件	125%
	⑪ 身近な動物・傷病鳥獣に関する啓発の推進	・講座回数	20回《4か年》	—	5回	・3回(累計8回)	・3回(累計11回)	11回	55%

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

【生物多様性】

	主な取組	目標	目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
				2014年度	2015年度	2016年度		
(3) しくみづくり	① 生物調査データの一元化(データベース化)と活用	・データバンクの整備・活用	—	・データの一部公開、産学官連携による検討	・生物調査データの更新、一部公開 ・産学官の連携による検討、意見交換	・生物調査データの更新、一部公開 ・産学官の連携による検討、意見交換	推進	推進
	② 市民参加の生き物調査の推進	・市内全域で実施	—	・約160校12,000人超の児童参加による調査	約170校、12,000名超の児童参加による調査実施	・約160校、10,000人超の児童参加による調査実施	推進	推進
	③ 生物生息状況モニタリング調査【生活環境に再掲】	・継続実施	—	・帷子川流域の陸域生物調査 ・河川生物相調査の冬季調査	・境川流域3か所で陸域生物調査実施 ・河川生物相調査の夏季調査実施	・大岡川流域3か所で陸域生物調査を実施し、4年前に実施した同地域における調査結果と比較 ・横浜市内の海域10地点において秋季と冬季に生物調査実施	推進	推進
	④ 地域特性に応じた保全等の検討	・検討	—	・産学民官連携による研究会による生物多様性評価手法検討	・産学民官連携による研究会による生物多様性評価手法検討	・産学民官連携による研究会において、生物多様性評価手法検討	推進	推進
(4) まちづくりと経済活動	① エキサイトよこはま22における環境取組の推進【環境とまちづくりに再掲】	・推進	—	省エネ、低CO ₂ を実現する建築計画、自然換気・自然採光の取り入れ、再生可能エネルギー導入等推進	・まちづくりガイドラインを改定しCO ₂ 排出原単位を見直し ・東口再開発予定地区におけるエネルギーの面的利用に関する検討実施	・東口のエネルギー面的利用想定エリア内建物所有者にヒアリングを行うとともに事業予定者への参画意向確認を行うことで、対象想定エリアを絞り込み	推進	推進
	② みなとみらい2050プロジェクトの推進【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】	・みなとみらい2050プロジェクトの推進	—	アクションプラン策定	・5つの公民連携のプロジェクトチームで推進	・5つの公民連携プロジェクトチームで推進	推進	推進
	③ みなとみらい21中央地区の公共空間への緑化推進【環境とまちづくりに再掲】	・みなとみらい21地区中央地区の公共空間への緑化推進	—	みなとみらい3号線の緑化推進	・みなとみらい4号線の緑化推進	・みなとみらい4号線の緑化推進 ・横浜美術館の緑化推進	推進	推進
	④ 京浜臨海部の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	—	人工干潟設置等取組推進	・平成25年度設置の人工干潟流出で、干潟設置が困難であることがわかった	・モデル的に人工干潟を設置し、維持管理や台風時の波の影響等の課題を確認し、2016年度に取組を完了	推進	推進
	⑤ 都心臨海部の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	—	山下公園前海域において民間企業との共同研究、アマモ植え付け	・山下公園前海域で民間企業と共同研究実施 ・汽道護岸水域の藻場形成取組で、アマモ植え付け箇所数増加	・実験箇所(アマモ場周辺)において、これまで見られなかった生物や未成魚を確認	推進	推進
	⑥ 金沢区野島海岸周辺の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	—	・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(参加者数:1,176人) ・野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供(参加者数:6,252人)	・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(参加者数:423人) ・野島青少年研修センターの自然体験プログラム提供(参加者数:6,675人)	・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(参加者数:567人) ・野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供(参加者数:12,797人)	推進	推進
	⑦ 金沢区白帆地区の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	—	・アマモの播種、花枝採取、自然学習イベント実施	・アマモの播種、花枝採取、自然学習イベント実施	・アマモの花枝採取、自然学習イベントを実施	推進	推進
	⑧ 企業の環境行動の広報【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	—	・ヨコハマ環境行動フェスタステージイベントへの企業参加、連携した広報	・横浜環境活動賞で8企業を表彰 ・受賞企業の取組の広報実施	・横浜環境活動賞で3企業を表彰 ・受賞企業の取組の広報実施	推進	推進

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(1) 市民とともに次世代につながる森を育む	① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	・緑地保全制度による指定	新規400ha《4か年》	439ha	101.7ha	・102.5ha(累計204.2ha)	62.4ha(累計266.6ha)	266.6ha	67%
	② 森づくりガイドライン等を活用した森の育成	・ガイドライン等を活用した維持管理の推進		—	森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地:109か所、公園11か所	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地:121か所、公園:14か所	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地:131か所、公園:18か所	推進	推進
		保全管理計画の策定(樹林地)	12か所《4か年》	—	3か所	3か所(累計6か所)	2か所(累計8か所)	8か所	67%
		保全管理計画の策定(公園)	8か所《4か年》	—	5か所	3か所(累計8か所)	4か所(累計12か所)	12か所	150%
	③ 指定された樹林地における維持管理の支援	・維持管理の支援	650件 (2014-2018年度)	—	132件	103件(累計235件)	83件(累計318件)	318件	49%
	④ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上【生物多様性に再掲】	・法面の整備	8か所《4か年》	—	施工中1か所	整備3か所	整備5か所	8か所	100%
⑤ 森の楽しみづくり	・イベント実施及び広報活動	144回《4か年》	—	107回	132回(累計239回)	106回(累計345回)	345回	240%	
(2) 市民が実感できる緑をつくる	① 民有地における緑化の助成【環境とまちづくりに再掲】	・緑化の助成	65件 (2014-2018年度)	—	個人宅、集合住宅、公開性のある地面緑化への助成 計5件	・5件(累計10件)	7件(累計17件)	17件	26%
	② 公共施設・公有地での緑の創出・管理	・緑化の創出	58件 (2014-2018年度)	—	16か所	22件 (累計38件)	18件 (累計56件)	56件	97%
	③ 公有地化によるシンボリックな緑の創出	・緑化の創出	5件 (2014-2018年度)	—	シンボリックな緑の創出予定地を1か所取得	・シンボリックな緑の創出予定地(1か所)において既存建物の解体設計を実施	5か所の候補地を選定し、うち4か所の用地取得が進捗	5か所の候補地を選定し、うち4か所の用地取得が進捗	80%
	④ いきいきとした街路樹づくり	・18区で推進		—	計画的なせん定等実施	・18区で推進 ・計画的なせん定等実施	18区で推進	推進	推進
	⑤ 地域緑のまちづくり	・46地区で推進(2014-2018年度)		—	6地区と協定締結(累計22地区)	・4地区(累計26地区)	9地区(累計35地区)	累計35地区	76%
	⑥ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	・緑の創出	100か所 (2014-2018年度)	—	50か所	32か所(累計82か所)	36か所(累計118か所)	118か所	118%
	⑦ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進		—	・魅力・賑わいづくり:6か所 ・良好な維持管理:3か所	・都心臨海部の緑花4か所 ・緑花の維持管理4か所	都心臨海部の緑化12か所 緑花の維持管理8か所	22か所 15か所	推進
(3) 効果的な広報の展開	① 市民の理解を広げる広報の展開	・効果的な広報の展開		—	広報よこはま・リーフレット・イベントほか、様々な媒体・手法を用いたPR実施	・広報よこはま、リーフレット、イベントほか、マスコットキャラクターの活用など様々な媒体、手法を用いたPR実施	・広報よこはま、リーフレット、イベントほか、マスコットキャラクターやアニメーションの活用など様々な媒体、手法を用いたPR実施	推進	推進
(4) 水循環の再生	① 宅地等における雨水浸透、貯留の推進	・雨水貯留タンク設置への助成	300個/年	—	280個/年	205個/年	226個/年	711個/3か年平均237個/年	59%
		・宅内雨水浸透ます設置への助成	50個/年	—	9個/年	19個/年	0個/年	28個/3か年平均9個/年	14%
	② 公共施設における雨水浸透の推進	・道路への雨水浸透ますの設置	1,000個/年	—	862個	204個	551個	1,617個/3か年平均539個	40%
	③ 透水性舗装の展開【生活環境に再掲】	・透水性舗装の実施	160,000㎡ 《4か年》	1,491,522㎡	24,589㎡	22,998㎡ (累計47,587㎡)	18,913㎡ (累計66,500㎡)	66,500㎡	42%
(5) 多自然川づくりの推進	① 多自然川づくり	・推進		—	推進	・多自然型落差工の整備推進	魚道整備(帷子川、いたち川)	推進	推進
	② 水辺拠点の整備	・水辺拠点の整備	3か所《4か年》	38か所	いたち川紅葉橋水辺 1か所	・1か所(累計2か所)	(累計2か所)	2か所	67%
	③ 多様な生き物を育む場づくり(アユが遡上する川づくり) 【生物多様性に再掲】	・帷子川モデルプランの策定		—	基本方針(案)策定	・「アユが遡上する帷子川アクションプラン」策定	・「はまっこアユ遡上プロジェクト」ワーキング実施(3回)	推進	推進

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

【食と農】

	主な取組	目標	目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況	
				2014年度	2015年度	2016年度			
(1) 持続できる都市農業の推進	① 農業生産基盤・設備の整備・改修	・生産環境の整備	72地区《4か年》	—	15地区	14地区(累計29地区)	・10地区(累計39地区)	39地区	54%
	② 経営改善や規模拡大に寄与する営農支援	・経営改善支援	70件《4か年》	—	12件	9件(累計21件)	7件(累計28件)	28件	40%
	③ 横浜型担い手の認定・支援	・担い手に対する支援	20件《4か年》	—	1件	4件(累計5件)	5件(累計10件)	10件	50%
	④ 農地の貸し借りに関する調整	・新たな貸借面積	12ha《4か年》	109.6ha	111ha	118ha	125ha	15.4ha	128%
	⑤ 6次産業化など付加価値を高める取組の推進【環境と経済に再掲】	・生産設備等支援	30件《4か年》	—	調査	5件支援	2件支援(累計7件)	7件	23%
	⑥ 先進的な栽培技術の活用による生産振興	・先進栽培技術に対する支援	30件《4か年》	—	1件	・2件(累計3件)	・4件(累計7件)	7件	23%
	⑦ 効率的な農業経営のための農地の集約化	・農地マッチング	7.0ha《4か年》	—	1.4ha	・3.2ha(累計4.6ha)	・4.5ha(累計9.1ha)	9.1ha	130%
(2) 市民が身近に農を感じる場をつくる	① 水田の保全	・水田の保全承認	123ha《4か年》	119ha	累計119.7ha	・総計120.1ha	総計120.8ha	120.8ha	98%
		・水源の確保	8か所《4か年》	—	1か所	・1か所(累計2地区)	2か所(累計4件)	4件	50%
	② 農景観を良好に維持する取組の支援	・良好に維持されている農地の面積	680ha《4か年》	676ha	704.3ha	・累計718ha	・累計723ha	723ha	106%
		・水路機能の維持	4地区《4か年》	—	1地区	・2地区(累計3地区)	3地区(累計6地区)	6地区	150%
		・土砂流出対策	4か所/年《4か年》	—	10か所/年	10か所/年	6か所/年	26か所/3か年平均8.7か所/年	163%
	③ 多様な主体による農地の利用促進	・長期貸付農地の確保	78ha	62.3ha	・4.1ha(累計66.4ha)	・10.6ha(累計77.0ha)	16.6ha(累計93.6ha)	93.6ha	120%
	④ 様々な主体による農地の利用促進	・市民農園の開設	4.8ha	1.3ha	2.8ha	2.2ha(累計5.0ha)	2.1ha(累計7.1ha)	7.1ha	148%
		・収穫体験農園の開設	10.0ha	4.8ha	1.5ha	1.0ha(累計2.5ha)	2.5ha(累計5.0ha)	5ha	50%
		・農園付公園の整備	6.7ha	0.4ha	1.4ha	1.4ha(累計2.8ha)	1.0ha(累計3.8ha)	3.8ha	57%
	⑤ 市民が農を楽しむ支援する取組の推進	・横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施	400回《4か年》	—	94回	89回(累計183回)	87回(累計270回)	270回	68%
		・農ある横浜、あぐりツアアの開催	16回《4か年》	—	3回	3回(累計6回)	4回(累計10回)	10回	63%
		・農のある地域づくり協定の新規締結	3件《4か年》	—	ワークショップ開催	2件	1件(累計3件)	3件	100%
		・家族で学ぶ農体験講座の開催	20回《4か年》	—	5回	5回(累計10回)	5回(累計15回)	15回	75%
	⑥ 地産地消にふれる機会の拡大	・直売所の支援	42件《4か年》	4件	4件	11件(累計15件)	10件(累計25件)	25件	60%
・青空市運営支援		20件《4か年》	5件	4件	5件(累計9件)	5件(累計14件)	14件	70%	
⑦ 市民や企業等との連携(地産地消の推進)【環境と経済に再掲】	・企業等との連携	50件	7件	5件の連携	8件(累計13件)	12件(累計25件)	25件	50%	

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

【資源循環】

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(1) 一般廃棄物に関する取組	① 3R行動の実践に向けた広報・啓発	・説明会・イベント・工場見学等啓発	5,500回《4か年》	—	・1,306回 「ヨコハマセントラルタウンフェスティバル155」への啓発ブース出展ほか	・1,318回(累計2,624回)	1,370回 (累計3,994回)	3,994回	73%
	② 生ごみ等の減量化・資源化推進事業【地球温暖化対策に再掲】	・生ごみ等のバイオガス化の実現可能性を検討		—	バイオガス化実現可能性検討、食品ロス削減等啓発のためのPR等実施	・バイオガス化の費用対効果について試算	施設が稼働している他都市の実績調査、バイオガス化技術及び国の補助制度に関する情報収集	推進	推進
	③ 事業者による減量化と分別徹底	・立入調査等(大規模・中小事業所)	8000件《4か年》	—	立入調査 3,100件 焼却工場での搬入物展開検査 8,540台 実施ほか	・立入調査 2,966件(累計6,066件) ・焼却工場での搬入物展開検査 11,637台 実施ほか	・立入調査 3,927件(累計9,993件) ・焼却工場での搬入物展開検査 9,693台 実施ほか	9,993件	125%
	④ むくもりのある街横浜事業	・高齢者等のごみ出し支援のニーズに着実に対応		—	市民ニーズに着実に対応	・市民ニーズに着実に対応(ふれあい収集5,507世帯、狭あい道路収集38,166世帯、粗大ごみ持ち出し収集8,319件)	・市民ニーズに着実に対応(ふれあい収集6,214世帯、狭あい道路収集35,517世帯、粗大ごみ持ち出し収集9,525件)	推進	推進
	⑤ 焼却工場の長寿命化等の適切な施設管理	・都筑工場長寿命化工事	完了	—	プラント設備工事着手、照明設備等更新工事	・3号炉の長寿命化工事完了 ・中央監視制御装置を更新 ・ごみ及び灰クレーンの制御装置補修工事実施	・3号炉の長寿命化工事が完成 ・タービン発電機の改造を行い、発電出力が増加	推進	推進
	⑥ 最終処分場の整備とごみ焼却灰の資源化など処分場の延命化	・南本牧ふ頭第5ブロック最終処分場整備	完了	—	海底地盤の地盤改良、遮水護岸の基礎工事及び据付、しゅんせつ等整備実施 第2ブロック処分場の延命化対策として、焼却灰の熔融処理による資源化や高密度化工事を実施	・海底地盤の地盤改良、遮水護岸の基礎工事及び据付、しゅんせつ等を実施 ・廃棄物の最終処分を継続するため、第2ブロック処分場の延命化対策を実施	・遮水護岸の製作・据付等を実施 ・廃棄物の最終処分を継続するため、第2ブロック処分場の延命化対策として、熔融処理による焼却灰の資源化や、高密度化工事を実施	推進	推進
(2) 産業廃棄物に関する取組	① 循環型社会を目指した取組の推進	・多量排出事業者等への自主管理計画の策定指導の推進 ・公共事業等における再生利用の推進		—	自主管理計画策定指導、他都市取組事例情報収集ほか	・多量排出事業者等への自主管理計画策定指導を実施 ・県外の排出事業者の廃棄物の減量化、資源化等の取組事例を収集 ・建設廃棄物の自ら利用に係る指導要綱に基づく指導を実施	・多量排出事業者等への自主管理計画策定指導を実施 ・県外の排出事業者の廃棄物の減量化、資源化等の取組事例を収集 ・建設廃棄物の自ら利用に係る指導要綱に基づく指導を実施	推進	推進
	② 安全で信頼できる環境負荷の少ない廃棄物処理の推進	・アスベスト、PCBなど産業廃棄物の適正処理指導の徹底の推進 ・不法投棄、不適正処理の未然防止のため監視体制の強化の推進 ・災害等の廃棄物処理体制の整備		—	立入調査実施、関係部署連携による不適正処理等への迅速対応実施、災害時の土地利用について協議	・立入調査等実施 ・関係部署連携による不適正処理への迅速対応を実施 ・災害時の土地利用について関係部署と協議を実施 ・解体廃棄物の処理に関する取組事項の整理	・PCB、アスベスト廃棄物の適正処理に向けた立入調査等を実施 ・未把握のPCB廃棄物の掘り起こし調査を実施 ・大規模災害時における災害廃棄物の仮置場の設置協力に関する協定を市内3大学と締結 ・排出事業者向けの廃棄物処理セミナー ・産業廃棄物対策課専従機動班と収集事務所との連携による不適正処理事案への迅速対応を実施	推進	推進
	③ 市民、排出事業者、処理業者、行政の協働・連携強化	・市民向け啓発活動の実施		—	市民向けリーフレット「さんばいってなーに」配布	・区民まつりなどのイベントで市民向けリーフレット「さんばいってなーに」配布	・産業廃棄物処理指導計画の取組実績をとりまとめ、ホームページ上で公開	推進	推進

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

横浜市環境管理計画 3か年の取組実績 一覧表

【生活環境】

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(1) 大気環境の保全	① 二酸化窒素・浮遊粒子状物質対策	FCV、九都県市指定低公害車の普及促進 ・エコドライブ講習会の開催		—	FCV等普及啓発イベント(13回)開催、エコドライブ講習会・エコドライブシミュレーター体験会等(7回)開催	FCV等普及啓発イベント開催:34回 ・エコドライブ講習会開催:3回 ・エコドライブシミュレーター体験会:9回	FCV等普及啓発イベントの開催:15回 ・エコドライブ講習会の開催:3回 ・エコドライブシミュレーターの体験会:9回 ・固定発生源のばい煙(窒素酸化物等)排出事業場への立入・測定実施(立入件数:84件) ・ばい煙発生源に関する大気汚染防止法の届出受付(236件)	推進	推進
	② 微小粒子状物質(PM2.5)対策	・常時監視の実施 ・発生源に関する実態把握の実施		—	市内18区で常時監視、年4回成分分析	・自動測定機を用いた常時監視実施(市内20測定局) ・成分分析実施(市内5地点、年4回) ・発生源に関する実態把握実施	・自動測定機を用いた常時監視実施(市内20測定局) ・成分分析実施(市内3地点、年4回)	推進	推進
	③ 光化学オキシダント対策	・立入調査、測定の実施 ・VOC排出量調査の実施 ・周辺自治体との連携		—	揮発性有機化合物(VOC)排出事業場への立入調査、排出量調査実施、九都県市などにおいて夏季のVOC対策啓発活動	・立入・測定実施件数:7件 ・VOC排出量調査実施 ・VOCに関する大気汚染防止法の届出:2件 ・九都県市などと共同で、夏季のVOC対策啓発活動実施	・成分分析実施(市内3地点、年4回)	推進	推進
	④ 悪臭対策	・現地調査の実施 ・都市、生活型の臭気測定		—	現地調査実施、悪臭物質・臭気の測定	・苦情に基づき現地調査実施:344件 ・悪臭物質及び臭気の測定実施	・市民からの苦情に基づき現地調査実施:280件(必要に応じて臭気測定実施)	推進	推進
	⑤ 低炭素交通の普及促進 【地球温暖化対策に再掲】	・推進		—	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進
(2) 水環境の保全	① 工場・事業場等への規制指導	・届出指導、立入調査の実施		—	法令に基づく届出 667件、立入615件、水質汚濁防止法改正への対応、横浜市生活環境の保全等に関する条例の規則改正	・水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、市条例に基づく届出指導件数:651件 ・立入調査件数:延べ624件 ・水質汚濁防止法の改正への対応、市条例の規則改正	・水質汚濁防止法、ダイオキシン対策特別措置法、横浜市生活環境の保全等に関する条例等に基づく届出指導件数:665件 ・立入調査件数:のべ643事業所 ・水質汚濁防止法の改正への対応、横浜市生活環境の保全等に関する条例の規則改正	推進	推進
	② 東京湾流域自治体との連携	・「東京湾環境一斉調査」などの実施		—	一斉調査実施(9/3)、「東京湾大感謝祭2014」での啓発活動	・悪天候のため東京湾水質一斉調査中止(各機関が任意で調査した結果を取りまとめ) ・東京湾岸自治体会議のポイント事業として「東京湾大感謝祭2015」にブース出展、啓発活動実施	・東京湾水質一斉調査を実施し、各機関が任意で調査した結果を取りまとめ(市内参加機関数:19) ・東京湾岸自治体環境保全会議の代表幹事として規約の見直しを行うとともに、「千葉湊大漁まつり」にブースを出展し、啓発活動を実施	推進	推進
	③ 下水道の取組	高度処理の導入	4水再生センター 《4か年》	—	金沢水再生センター(第4系列)高度処理化工事完了	・北部第二水再生センターの2系列工事完了 ・高度処理水量:262,703,000m ³	・北二水再生センターの1系列工事完了 ・高度処理水量:276,240,000m ³	高度処理の導入 6水再生センター	150%
		・合流式下水道の吐口における下水流出抑制対策等の推進		—	堰高改良2か所	・推進	・合流式下水道の改善を実施(4か所)	推進	推進
	④ 赤潮モニタリングの実施	・モニタリングの実施		—	水質測定計画測定地点のうち3地点で赤潮モニタリング試行、赤潮発生時の原因プランクトン同定	・公共用水域の水質測定計画の測定地点(海域7地点)で赤潮モニタリング実施(通年) ・鶴見航路においてモニタリング実施(通年)	・公共用水域の赤潮モニタリング(12回) ・鶴見航路の赤潮モニタリング(50回)	推進	推進
	⑤ 多自然川づくりの推進 【水とみどりに再掲】	・推進		—	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進
⑥ つながりの海(まちづくりと連携した海づくり)	・推進		—	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進	

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(2) 水環境の保全	⑦ 市民参加型等による生物多様性の取組【環境と人・地域社会、生物多様性に再掲】	・水辺愛護会の活動距離	60,198m	58,198m	活動距離 59,068m	59,418m	59,418m	59,418m	99%
		・継続実施		—	帷子川流域の陸域生物調査 河川生物相調査の冬季調査	・境川流域3カ所で陸域生物調査実施 ・河川生物相調査の夏季調査実施	・大岡川流域3カ所で陸域生物調査を実施し、4年前に実施した同地域における調査結果と比較 ・横浜市内の河口、海岸域7地点、内湾域3地点で秋季と冬季に生物調査実施	推進	推進
(3) 地盤環境の保全	① 地盤沈下対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施		—	新設揚水施設(許可:4件、小規模届出:15件)、 その他揚水施設届出等274件、掘削工事届出:28件、 精密水準測量:測量延長368km(地理院52km含)、調査数333点 最大沈下量:8.5mm(港北区)	・新設揚水施設(許可:2件、小規模届出:8件)、 ・その他揚水施設届出等258件、掘削工事届出:37件、 ・精密水準測量:測量延長189km(地理院52km含)、調査数174点 ・最大沈下量:12.1mm(保土ヶ谷区)	・新設揚水施設(許可:2件、小規模届出:11件) ・その他揚水施設届出等269件、掘削工事届出:56件 ・精密水準測量:測量延長188km(地理院51km含)、調査数174点 ・最大沈下量:4.6mm(港北区)	推進	推進
		② 土壌汚染対策	・土壌汚染のある土地の適切な管理を推進 ・届出指導、立入調査の実施	—	土壌汚染対策法届出、指導:255件 市条例届出、指導:164件	・土壌汚染対策法届出、指導:298件 ・市条例届出、指導:160件	・土壌汚染対策法届出、指導:305件 ・市条例届出、指導:172件	推進	推進
	③ 地下水の水質汚濁対策	・届出指導、立入調査の実施 ・常時監視の実施	—	地下水汚染追跡井戸:43件 市条例(地下水汚染)届出件数:15件 水質汚濁防止法の改正(地下水汚染の未然防止のための取組制度の創設)に伴う届出件数:37件 市内73カ所の井戸について常時監視を実施 ・メッシュ調査:24件 ・定点調査:6件 ・継続監視調査:28件 ・汚染井戸周辺地区調査:5件 ・汚染井戸監視調査:13件	・市条例(地下水汚染)届出件数:14件 ・水質汚濁防止法の改正に伴う届出件数:43件 ・市内井戸の常時監視:104件 ・地下水汚染追跡井戸:47件 ・メッシュ調査:25件 ・定点調査:6件 ・継続監視調査:28件 ・汚染井戸周辺地区調査:29件 ・汚染井戸監視調査:16件	・市内井戸の常時監視:89件 ・メッシュ調査:25件 ・定点調査:6件 ・継続監視調査:38件 ・汚染井戸周辺地区調査:11件 ・汚染井戸監視調査:9件	推進	推進	
	④ 水循環の再生【水とみどりに再掲】	・推進	—	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進
(4) 化学物質対策の推進	① 化学物質対策	・PRTR届出指導の徹底 ・講座開催、イベント出展	—	・PRTR届出件数:413 ・他自治体、他機関と連携した事業者セミナー:3回 ・事業者間の情報交換会、事業所排水分析支援 実施 ・講座・イベント出展等:5回	・PRTR届出件数:420件 ・他自治体、他機関と連携した事業者セミナー:4回 ・市民に向けた講座・イベント出展等:8回	・PRTR届出件数:437件 ・他自治体、他機関と連携した事業者セミナー:5回 ・市民に向けた講座・イベント出展等:6回	推進	推進	
		② 有害化学物質対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	—	地下水汚染:原因究明調査を実施1地区 市内5地点で、有害大気汚染物質採取分析調査を年12回実施。	・地下水汚染:原因究明調査を実施1地区 ・市内5地点で、有害大気汚染物質採取分析調査を年12回実施	市内3地点で、有害大気汚染物質採取分析調査を年12回実施 地下水汚染:原因究明調査を実施(1地区)	推進	推進
	③ ダイオキシン類対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	—	土壌モニタリング:10 地点 ○大気:6地点で年4回(春夏秋冬)測定を実施。 ○海域・地下水:各6地点で測定を実施。	・ダイオキシン類対策特別措置法の届出受付(8件) ・ダイオキシン類を排出する廃棄物焼却炉等の立入調査実施(大気9件、水質13件) ・大気環境測定実施(6地点、年4回) ・河川・地下水環境測定実施(各6地点、年1回) ・土壌環境測定実施(10地点)	・ダイオキシン類対策特別措置法の届出受付(大気6件、水質1件) ・ダイオキシン類を排出する廃棄物焼却炉等の立入調査実施(大気14件、水質13件) ・大気環境測定実施(6地点、年4回) ・海域・地下水環境測定実施(各6地点) ・土壌環境測定実施(10地点)	推進	推進	
	④ アスベスト対策	・立入調査の実施 ・環境測定の実施	—	・石綿排出作業現場において、アスベストの測定調査の実施 ・年度取りまとめ資料の作成	・立入調査件数16件 ・石綿排出作業現場でアスベストの測定調査実施年度取りまとめ資料の作成 ・関係課長会を1回実施	・立入調査件数:20件 ・石綿排出作業現場でアスベストの測定調査実施 ・大気環境測定実施(6地点、年4回) ・年度取りまとめ資料の作成 ・本市所有施設を対象にアスベスト含有保温材等の使用状況調査を	推進	推進	

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です

	主な取組	目標	目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
				2014年度	2015年度	2016年度		
(5) 騒音・振動対策の推進	① 工場・事業場の騒音・振動対策	<ul style="list-style-type: none"> 届出指導、立入調査 騒音低減のための普及啓発 都市、生活型の騒音測定 	—	<ul style="list-style-type: none"> 事業者からの法や条例に基づく届出に対し適正な審査と適切な指導、特定工場等への立入調査を実施 騒音苦情の未然防止のため業界団体に対し普及啓発を実施 都市・生活型の騒音測定、苦情対応(発生源指導等)を実施(苦情件数:255件) 	<ul style="list-style-type: none"> 届出件数:603件、立入調査実施5件 未然防止のため業界団体に対し普及啓発を実施 苦情対応実施(騒音193件、振動20件) 	<ul style="list-style-type: none"> 届出件数:520件、立入件数:18件 苦情対応実施(騒音148件、振動19件) 	推進	推進
	② 建設作業の騒音・振動対策	<ul style="list-style-type: none"> 立入調査の実施 騒音・振動低減のための普及啓発 	—	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設作業に関し法に基づく届出に対する適正な審査と適切な指導、現場等への立入調査を実施 建設・解体工事に伴う騒音・振動の未然防止のため業界団体に普及啓発を実施 発生源指導等の苦情対応を実施(苦情件数:242件) 	<ul style="list-style-type: none"> 立入調査実施:20件 未然防止のため建設・解体工事業界団体に普及啓発を実施 苦情対応実施(騒音145件、振動93件) 	<ul style="list-style-type: none"> 届出件数:2638件、立入件数:30件 苦情対応実施(騒音134件、振動86件) 	推進	推進
	③ 生活騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> 生活騒音に係る相談対応 	—	<ul style="list-style-type: none"> 生活騒音の相談者にリーフレット配布、騒音計の貸出、解決に向けたアドバイス等の側面的な支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生活騒音の相談者にリーフレット配布、騒音計の貸出、解決に向けたアドバイス等の側面的な支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生活騒音の相談者にリーフレット配布、騒音計の貸出、解決に向けたアドバイス等の側面的な支援を実施しました。 	推進	推進
	④ 道路及び鉄道交通騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> 常時監視の実施 地域特性を考慮した騒音対策 	—	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの苦情、道路の騒音(9件)及び振動(36件)、鉄道の騒音(10件)及び振動(9件)に対応を実施 市民からの調査依頼に基づき、道路の騒音(3件)及び振動(19件)、鉄道の騒音(6件)及び振動(3件)の測定を実施 鉄道や高速道路等に近接して集合住宅を建設しようとする事業者への防音対策指導を実施(38件) 常時監視(道路):34地点で騒音測定を実施し、面的評価により、市内14路線延べ116.4kmにわたり、道路端の住居等が受ける騒音レベルを評価 常時監視(新幹線):24地点で測定を騒音・振動測定を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 交通騒音の常時監視(32地点) 道路端の住居等における騒音レベル評価(市内14路線) 新幹線騒音・振動の常時監視(24地点) 鉄道や高速道路に近接して集合住宅を建設しようとする事業者への防音対策指導(39件) 市民からの騒音振動苦情対応(37件) 	<ul style="list-style-type: none"> 道路交通騒音の常時監視(32地点) 道路端の住居等が受ける騒音レベルを面的評価(市内23路線延べ100km) 新幹線騒音、振動の常時監視(24地点) 市民からの苦情で、道路・鉄道併せて騒音(6件)及び振動(21件)に対応しました。 市民からの調査依頼に基づき、道路・鉄道併せて騒音(2件)及び振動(15件)の委託測定を実施 鉄道や高速道路等に近接して集合住宅を建設しようとする事業者への防音対策指導を実施(43件)。 	推進	推進
	⑤ 航空機騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> 常時監視の実施 	—	<ul style="list-style-type: none"> 航空機の騒音に対する苦情対応を実施(65件) 年間を通して市内3か所で常時監視を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内3か所で常時監視 市民からの騒音苦情対応(47件) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内3か所で常時監視 市民からの騒音苦情対応(47件) 	推進	推進

	主な取組	目標		目標設定時	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
					2014年度	2015年度	2016年度		
(6) ヒートアイランド対策の推進	① 定点的な観測	・推進		—	実施に向けた検討	・43地点で気温観測し市域の気温分布図を作成 ・神奈川県・川崎市と共に県域の気温分布図を作成	・44地点で気温観測し市域の気温分布図を作成 ・神奈川県・川崎市と共に県域の気温分布図を作成	推進	推進
	② 研究解明に向けた取組	・推進		—	検討	・熱環境調査を実施	・熱環境調査を実施	推進	推進
	③ 普及啓発	・推進		—	推進	・推進	・推進	推進	推進
	④ 熱中症対策(ヒートアイランド現象適応策)	・熱中症システムの本格運用		検討	検討	・18区で暑さ指数を観測した結果、環境省が提供する熱中症予防情報(暑さ指数)とほぼ同様の傾向を示すことがわかった	・熱中症システムの本格運用に向けた取り組みを完了	検討の上、取組を完了	検討の上、取組を完了
	⑤ すず風舗装による道路整備	・すず風舗装の実施	10,000㎡《4か年》	163,787㎡	2,951㎡	・3,893㎡(累計6844㎡)	5,379㎡(累計12,223㎡)	12,223㎡	122%
	⑥ 透水性舗装の展開【水とみどりに再掲】	・透水性舗装の実施	160,000㎡《4か年》	1,491,522㎡	24,589㎡	22,998㎡(累計47,587㎡)	18,913㎡(累計66,500㎡)	66,500㎡	42%
	⑦ 都心部におけるエコまちづくりの推進【環境とまちづくりに再掲】	・推進		—	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進
	⑧ 市民が実感できる緑をつくる【水とみどりに再掲】	・推進		—	・推進	・推進	・推進	・推進	・推進

網掛けされている項目は、当該項目よりも前に掲載している取組の再掲です